

デジタルによる創発・共創のマッチングプラットフォーム「YOKOHAMA Hack!」 「河川等の堆積土砂」の課題解決に向けたソリューションを募集します！

横浜市では、DX推進の取組として、行政の業務やサービスにおける課題・改善要望(ニーズ)と、それを解決する民間企業等の皆様が有するデジタル技術(シーズ)をマッチングするオープンなプラットフォーム「YOKOHAMA Hack!」を運営しています。

今回提案を募集するテーマについて、令和4年10月27日より、民間企業の皆様と課題解決の糸口を探るワーキングを実施してまいりました。

この度、民間企業の皆様とのワーキングを踏まえ、新たな価値の創出に繋がる実証実験を行うため、課題解決に繋がるデジタルソリューションを募集します。

募集内容

<河川等の土砂堆積量の把握と分析>

河川には雨水と同時に上流から土砂も流れ込み、河床等への土砂の堆積が進行すると洪水の原因となる。その防止のため、職員による目視点検を行っており、業務の効率化やスキルの個人差に課題がある。画像解析・データ分析等のアプローチにより、堆積土砂の位置とボリュームを把握する技術や、土砂堆積の傾向を分析する技術を解決策として想定している。

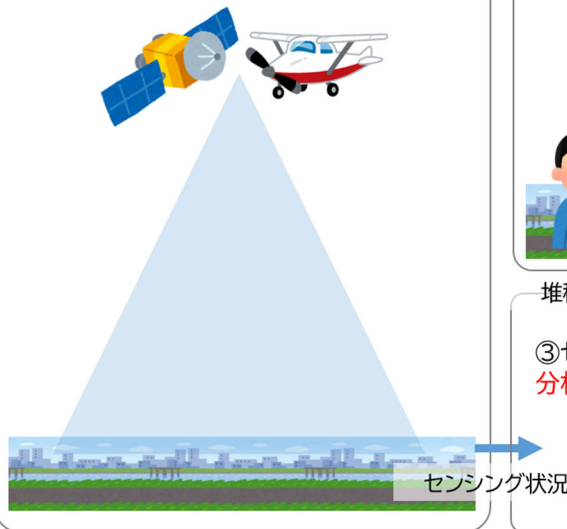
実証実験では、土砂堆積量を簡易的・客観的・定量的に把握し、効率的な管理や傾向の解析を行う仕組みを構築し、その効果を検証することを目指す。解決策としては、以下の3つのタイプを想定している。

1. 衛星データや航空データ等の“上空から”のセンシングによる概況把握
2. モバイル端末のLiDAR/カメラ等による“近傍から”のセンシングによる定量把握
3. センシング状況の集約・管理・分析などを行うシステム化

募集テーマ

①上空からのセンシングによる概況把握

例)衛星データ・航空データ



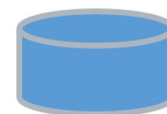
②近傍からのセンシングによる定量把握

例)モバイル端末のカメラ・LiDAR・ドローン等



堆積箇所を特定 ↑ センシング状況 ↓

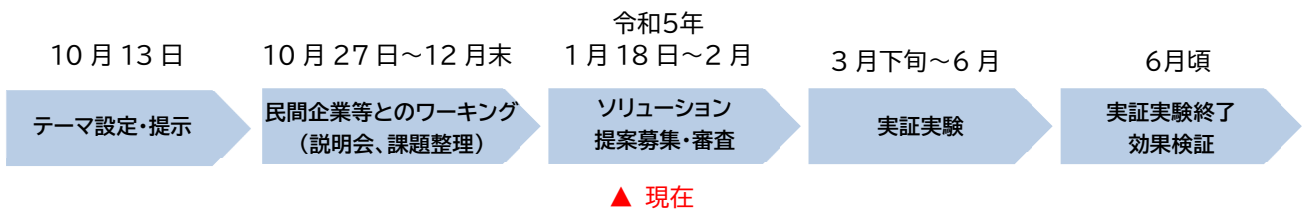
③センシング状況の集約・管理・分析などを行うシステム



※ 3タイプの解決策に対して、網羅的な提案が望ましいが、いずれかの提案でも構いません。例えば、センシングだけでなく、システム化の構想がある方が望ましいが、「近傍からのセンシング」のみの提案であっても、それが優れた提案であれば高く評価させていただきます。

| | |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 募集期間 | 令和5年 1月18日(水) ~ 1月31日(火) |
| 募集形式 ・採択予定件数 | 公募 1件 (複数になることもあります) |
| 実証実験の 実施時期 | 協定締結後 ~ 令和5年6月(予定) |
| 応募方法 | YOKOHAMA Hack! 公式サイトより、お申込みください。 https://hack.city.yokohama.lg.jp/gate/123 |

(参考)【実証事業の流れ】(予定)



YOKOHAMA Hack!について

デジタル・ガバメントの取組として、行政の業務やサービスにおける課題・改善要望(ニーズ)と、それを解決する民間企業等の皆様が有するデジタル技術(シーズ)をマッチングするオープンなプラットフォームです。

各所管課が「今」抱えているニーズを集約・公開し、民間企業等の皆様が持っているデジタル技術をタイムリーに募ることができる環境を築き、これまでの仕組みとは異なる新たな取組として解決策の創出を目指し、横浜のDXを推進します。

(参考)ワーキング開催実績

開催期間: 令和4年10月~12月
 説明会参加企業数: 13社
 ピッチ参加企業数: 6グループ(8社)

| |
|--------------------------------------------|
| お問合せ先 |
| デジタル統括本部デジタル・デザイン室長 谷口 智行 Tel 045-671-4761 |